

十勝 Tokachi Shimizu 清水

最高のぜいたく、育てています。



Tokachi Shimizu

2016年
年末年始合併号
287号

第28回 JA北海道大会

- 02. すこやかファミリー
中羽帯 門木 啓輔さんファミリー
- 03. 2016年 年頭にあたり
代表理事組合長 串田雅樹
- 04. 平成28年の年頭にあたり
北海道農業協同組合中央会 会長 飛田稔章
- 06. 第28回 JA北海道大会
- 08. トピックス
- 14. クロスワードパズル
- 15. 第14回全日本ホルスタイン共進会受賞報告会
- 16. 今月の青年部員さん
今月のメニュー



トーマスや電車のおもちゃで
遊ぶのが大好き♪

Agricultural Cooperative Association Magazine

自然と環境 人と人とのつながりを大切にしています。

 十勝清水町農業協同組合

すこやかファミリー



中羽帯
かとき つくお
門木 嗣夢 くん (2才7ヶ月)

アンパンマンやトイストーリーのDVDをみるのが大好きな嗣夢くんは、最近、イヤイヤが始まり、思い通りにならないとすぐ怒ったり、うそ泣きをしたりすることもあるのだとか…。「まだまだ大きな赤ちゃんみたいで、毎日、何かしらで怒っています(笑)」とお母さんの憂梨子さん。

そのため、「お姉ちゃんと一緒に仲良く遊んだり、泣いている妹の頭をなでてあげたりする姿がとても微笑ましくて…“お兄ちゃんらしくなってきたなー”と愚えて嬉しいです」と教えてくれました。

～お母さんからのメッセージ～

やんちゃで甘えん坊、そして優しい坊のつくくん。
ママは毎日手を焼いている毎日
でも、あのつくくんは 優しくしてるところを見ると
ほっこりするよ♡
これから 花いっぱい、人に優しくできる子に
成長ね。
あと…もう少し胃腸を強く作ろうね(笑)

おとうさん
おかあさん
おねえちゃん
いもとう
おじいちゃん
おばあちゃん

門木 啓輔さん
憂梨子さん
優空さん
絢音さん
謙司さん
順子さん

高年齢者の農作業では、滑って転倒することが多いので、頭を保護するためにヘルメットや滑らない安全靴を着用するのが望まれます。これは農作業時の最低のスタイルです。

さらに果樹農家では、高所作業が多くあります。脚立やはしごからの転落事例は多くあります。農作業現場では、きちんとした水平面に脚立を設置できる面はほとんどありません。必ずでこぼこが

現在、日本の農業の多くは高齢者が担っています。農業機械化も進み、高齢者が機械を扱うことも多くなってきた。特にこれは80歳以上で多いといわれています。

まず一般の農作業の場合、肥料などの重量物の運搬の問題があります。20kgの肥料袋を一輪車から降ろそうとして転倒し、背骨の圧迫骨折を起こした62歳の女性の例があります。通常「人力だけで取り扱う場合は、体重の40%以下、さらに女性の持ち上げ能力は男性の60%」とされています。20kgの肥料ならば小分けにして袋に入れ直すことが必要です。

最近では機械化による事故も増えています。最も多いのは草刈り機によるもので、次いでトラクター、軽トラ、コンバイン、チェーンソーの順です。高齢者はこのような農機具を使用するときは、万のときのことを考えてどんなに近い場所であつても、必ず携帯電話を携帯することが重要です。

それから服装のことですが、手拭いを腰にぶら下げたり、首に巻かないこと。つまりヒラヒラした物があると、場合によっては農機具に巻き込まれて、大けがをすることがあるからです。



健康 百科

『高齢者の農作業はここに注意』

佐久総合病院名誉院長 松島 松翠



2016年 年頭にあたり

代表理事組合長 串田 雅樹

組合員の皆様、あけましておめでとうございます。輝かしい希望に満ちた新春をご家族とともに迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。昨年は、組合員をはじめ、多くの皆様に農協運営、農協事業にわたり格別のご理解とご協力を賜り、あわせて多くの皆様よりご指導いただきましたことに深く感謝とお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、春先の度重なる強風によるてん菜、豆類での廃耕や5〜7月にかけての少雨による生育停滞などにより出来秋が心配されましたが、農耕期間の降水量が平年比78と少なく、積算温度が平年並みであったことが幸いし、特に、小麦、てん菜の単収及び品質は極めて良好で、畑作経営では、近年にない実入りの良い年となりました。

つきましては、春先の強風により一部圃場で被害が発生しましたが、生育全般を通して順調で、さらに9〜10月が低温で経過したことと西部萎黄病や褐斑病の防除が徹底されたこともあり、単収6.3ト糖分17.6%と昨年以上の生産実績が見込まれています。馬鈴薯につきましては、植付後が極端な少雨であったものの8月上旬以降がやや低温で経過したため塊茎肥大は良好で、てん原用は平年並みの単収、ライマン価となりました。食用加工用は早生品種が少雨により小玉傾向となりましたが、全体では過去10年で2番目に高い単収となり、集荷量も昨年に引き続き10千トを超えることが出来ました。豆類につきましては、生育が順調で開花期の天候に恵まれたことから豊作が期待されましたが、金時の色流れや大豆のしわ粒など降雨による品質低下が見られました。一方、小豆、手亡は、収量、品質は平年並みとなりましたが、近年になく相場が下落し、極めて厳しい年となりました。野菜の主要品目につきましては、にんにくが積雪不足による凍害および少雨の影響で小玉傾向となり、単収は平年を下回りました

が、その他のアスパラ、ブロッコリー、白菜についてはいずれも作柄および販売環境に恵まれ、アスパラは生産量および生産高ともに史上最高となり、ブロッコリー、白菜については昨年に続き生産高1億円を突破することが出来ました。酪農におきましては、昨年の乳価は1*3.6円の値上がりに加えて、牛肉価格をはじめとする個体価格の高騰による所得の向上はありましたが、依然として飼料費などの生産資材やエネルギーコストの高止まりは続き全道的には搾乳中止による酪農家戸数の減少に歯止めはかからず、厳しい生乳生産環境でありました。そのような中で、本町の生乳生産量は、秋の台風によるデントコーンの一部倒伏はありましたが、一昨年の良質な粗飼料と穏やかな夏の気候にも助けられ、2年連続で11万トを突破することが出来ますことは、ひとえに酪農家の皆様のご努力のおかげであると感謝いたします。

農協事業におきましては、一昨年着工いたしました、にんにく貯蔵庫と農産物処理加工施設が完成し、皆様のおかげで稼働することが出来、これまでの最高の贅沢を育てるJ A十勝清水町ブランドの推進をさらに進めることが出来ました。今後「十勝若牛」はもちろ「十勝清水にんにく」からつくる「熟成黒にんにく」の販売拡大と「しみず有機」をつかって出来る清水町ならではの元気な土作りの取組みから育った「とれたんと」の農産物をさらに消費者の皆様にご紹介いただき、ご紹介をしてまいります。

昨年は、組合員やJ A役員、関係者の方々の参加のもと、第28回J A北海道大会が開催され、「北海道550万人と共に創る 力強い農業と豊かな魅力ある農村」をメインテーマとして、向こう3カ年にわたるJ Aグループ北海道の対応方針を確認いたしました。また、昨年は、農協改革法案の成立、T P P交渉の大筋合意など、わが国の農業・J Aにとつて極めて大きな情勢変化があった一年でした。当J Aにおきましては、本年より、地域農業振興計画と農協中期計画の新たなスタートの年を迎えるにあたり、農業を取巻く激変の環境の下、組合員の皆様の多くの意見をお聞きし、J A十勝清水町のありたい姿を明確にして取り組んでまいりたいと思っております。

本年も地域農業の振興と共に組合員の皆様のご期待に応え、営農と生活に貢献し信頼されるJ Aの使命を果たすべく、役員一丸となり業務を推進する所存であります。

本年こそは災害もなく、組合員の皆様が農作業に安全で、ご家族がご健勝で豊穡の秋を迎えることが出来、清水町農業の更なる発展と成長を目指し飛躍の年となりますよう心よりご祈念申し上げます。



平成28年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会
会長 飛田 稔章

組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年の北海道農業は、一部地域において暴風雨被害が発生するなどの影響がありました。全体的にはおおむね順調な作柄となりました。

皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げます。

さて、昨年11月11日に、組合員やJA役職員等、関係者の方々の参加のもと、第28回JA北海道大会が開催されたところです。

「北海道550万人と共に創る力強い農業と豊かな魅力ある農村」をメインテーマとして、向こう3か年にわたるJAグループ北海道の対応方針を確認いただき

ました。

組合員・JA・連合会・中央会が、各役割を再確認した中で、JAグループ北海道の英知を結集し、基本目標の達成に向け取り組んでいくとともに、北海道550万人から信頼され、ともに歩んでいくJAグループ北海道を目指すこととしております。

関係各位の特段なるご理解とご協力のほどをよろしくをお願い申し上げます。

平成27年は、農協改革法案の成立、TPP交渉の大筋合意など、我が国の農業・JAにとって極めて大きな情勢変化があった一年でした。

農協改革については、その主要な目的でもある法改正と農業所得向上の関連性などについて、いまだに十分な理解が進まない中、准組合員制度のあり方や監査の仕組みなどの重要案件が今後の検討課題となっており、改めて地域農業

の振興や農協経営への影響がないよう、政府に対する働きかけを含め、関連する取組みを進めていく必要があります。

一方、TPP交渉に関しては、交渉参加12か国の閣僚会合を経て、昨年10月5日に大筋合意がなされましたが、守秘義務を盾に交渉に関する情報開示や国民的議論がないままに、大筋合意という結果に至ったことに対して、強い憤りを覚えるところです。

今後、通常国会においてTPP交渉に係る国会審議がなされる予定ですが、改めて、政府並びに各議員に対して、今回の合意内容の全容と影響、さらには国会決議との整合性について十分な説明責任を果たすとともに、生産者の不安を払拭し、持続可能な北海道農業の確立に向け、万全な対応がなされるよう強く求めていく必要があります。

世界規模での異常気象の発生、人口増加、経済情勢の変化などを背景に、国際的な食料の需給事情は常に不安定な要因を抱えており、我が国として、先を見据えた中で食料自給率の確保などによる食料の安全保障体制をいかに確立していくかが問われています。

言うまでもなく、農業は、食料の安定供給という、国民生活に欠かすことができない極めて重要な役割を担っている生命産業であり、その役割は未来永劫変わることはありません。

我々農業者・JAグループは、その責任感と自負心のもと、改めて協同の精神に立ち返った中で、現下のさまざまな課題を克服すべく、力を合わせていくとともに、農業・JAに対する幅広い理解と共感を得る取組みを積極的に進めながら、長年にわたり先人が築き上げてきた本道農業並びに農業協同組合の基盤をさらに発展させ、後世に継承するよう、ともに頑張ろうではありませんか。

今年の干支は申年（さるどし）です。一説には、申は、伸ばすという意味があり、「草木が十分に伸び、実が成熟していく時期」を表しているとのことでもあります。

今年は、この申年にあやかり、天候に恵まれ実り多い充実した一年となりますよう、併せて、北海道農業並びにJAグループ北海道の一層の発展を心よりご祈念申し上げます、新年にあたってのご挨拶といたします。

新年明けまして

おめでとうございます

今年もどうぞよろしく

お願いいたします

(敬称略・順不同)

代表理事組合長	串田 雅樹
専務理事	氷見 隆雄
常務理事	秋野 勝由
特認理事	赤間 富秋
特認理事	光井 龍雄
理事	鈴木 栄
理事	松原 秀雄
理事	金子 達也
理事	富田 春市
理事	高橋 雅典
理事	山田 光一
理事	丸山 善人
代表監事	山本喜久男
監事	丕井 正司
常勤監事	宮崎 正則
参事	岡田 繁
職員一同	

(地区営農集団)

上清水地域振興会	会長 武田 秀徳
字清水協議会	会長 大竹 広美
下佐幌地域推進協議会	会長 森 一広
下人薮地域振興会	会長 深沼 達生
人薮地域振興会	会長 名須川 誓詞
北熊牛連合会	会長 安田喜代一
熊牛地域連合会	会長 佐原 寿
松沢連合会	会長 佐藤 政之
美蔓地区連合会	会長 片桐 秀樹
御影地域連合会	会長 高岸 永司
羽帯地域連絡協議会	会長 米田 尚史
上羽帯地区推進協議会	会長 浅水 満
旭山地域振興協議会	会長 中村 清孝

(生産組織)

農業機械部会	会長 堀 勝利
酪農部会	会長 村上 博昭
農産部会	会長 喜多 悟
(酪農・畜産)	
養豚振興会	会長 與秋 紀克
清水町ホルスタインクラブ	会長 大久保大輔
肉牛振興会	会長 佐藤 栄三
十勝若牛生産組合	組合長 吉田 哲郎
清水町ジェニアホルスタインクラブ	会長 大槻 悟
(農産・野菜)	
下佐幌らん菜育苗センター	利用組合
御影らん菜育苗センター	組合長 三好 豊

美蔓らん菜育苗センター利用組合

組合長 那須野裕一

清水町種子馬鈴薯採種組合

組合長 須田 巧

清水町豆類種子生産組合

組合長 堀川 寛

清水町秋播小麦採種組合

組合長 森 一広

清水町馬鈴薯生産組合

組合長 那須野裕一

清水町蔬菜振興会

会長 吉野 進

十勝クリーン大豆生産組合

組合長 佐藤 博志

(一般)

清水町農民連盟

委員長 中村 勝則

清水町農村連盟

委員長 桜井 清

ホクレン原料所

所長 堂本 弘之

JA十勝清水町青年部

部長 森 陽輔

JA十勝清水町女性部

部長 表 由美子

ほか役員一同

第28回 J A 北海道大会

北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』



平成27年11月11日 第28回 J A北海道大会が、札幌市コンベンションセンターで開かれ、道内各地から J A関係者延べ2,300人が参加し、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』」と掲げたメインテーマの下、「農業所得20%増大」「新規担い手倍増」といった数値目標を含め、力強い農業や豊かな魅力ある農村の実現、組合員・J A・連合会・中央会の役割の明確化を図る3つの議案について着実に実践し、「消費者・地域社会、そして北海道550万人から信頼される J Aグループ北海道を目指す」とした大会決議が採択されました。併せて「T P P から北海道農業・農村および国民の命と暮らしを守る特別決議」も採択されました。

J A北海道大会は、大会決議を通じて J Aグループ北海道が今後目指すべき方向性を決定する大会であり、J A十勝清水町からは、串田組合長を始め、表女性部長、森青年部長ら25名が出席しました。大会では、大会実行委員長を務める J A北海道中央会の飛田会長が開会挨拶の中で、大筋合意に至った T P P について、「道民・国民の命を守る、食を守る農業という生命産業に携わっている J Aグループ北海道の重要な使命として、農業の担い手が将来にわたる意欲と希望をもって営農を継続できるとともに、北海道の地域経済・社会、国民の命と暮らしが T P P によって脅かされることのないよう、今後も全力で取組んでいく」との決意を示すとともに、農協法改正に対しては、「准組合員制度の在り方などこれから検討される内容もあるが、われわれ J Aグループ北海道は、昨年11月に全国に先駆けて策定した改革プランを今回の大会を通じて加速させることが何よりも重要」と強調。その上で、「J A北海道大会は、J

Aグループの目指すべき方向を決定し、これをグループ内外に発信

するとともに、組合員ならびに職員

の役割を再確認した上で、JAグループの総力を結集して決議事項の実践を図ろうとするもの。今回の大会でのメインテーマ

である力強い農業とは、北海道の基幹産業である農業が日本の食料

供給基地を担うにふさわしい所得を確保することで、次世代に継

承できる持続可能な産業となること。また、豊かな魅力ある農村と

は、都市近郊を含めた農村に暮らす人々が、消費者や地域住民とつ

ながりを持って、心の豊かさや誇りを実感できる魅力ある農村となること。農業は生命産業であること

ともに、携わる者のそれぞれの自

助努力、消費者・地域住民の理解と協力のもとに成り立つ産業。われわれJAグループは、PPPや

農協改革などにより一大転換期を迎えているが、今回の大会を通じて、今後に向けた取組みを決定する

とともに、農業・JAに対する幅広い理解と共感を得ながら、長

年にわたり先人が築き上げた北海道農業と農協の基盤をさらに発展さ

せ、後世にしっかりと継承するよう

JAグループ一丸となって頑張っ

て参りたい」と、大会に込めた思いを力強く訴えました。

大会で決議された3つの事項としては、次のとおりです。

・決議事項1

北海道550万人と共に創る「力強い農業」の実現

・実現のための基本目標

協同の力で「農業所得20%増大」と「新規担い手倍増」を実現

・基本目標達成のための実践方策

①儲かる農業の実現に向けた収益向上の取組み

②営農基本技術の励行と生産から販売までのトータルコスト

低減

③力強く持続可能な農業を支える担い手の確保・育成

④道産農畜産物の海外への発信

や北海道型6次産業化の展開

⑤組合員の意思結集による農政運動の展開

・決議事項2

北海道550万人と共に創る「豊かな魅力ある農村」の実現

②地域のつながりを守るための基本インフラ（生活基盤）づくり

③道民と食と農でつながるサポート1550万人づくり

・決議事項3

基本目標を実現するための「各組織等の取り組み」

①組合員・役員JAグループ全体の人づくり「自ら学び、

気づき、成長する」ことができる人づくりを実践

②JA経営基盤の強化・女性農業者のJA運営への参画

③連合会・中央会横断的・一体的事業展開とJA事業の補完

④中央会JAグループの総意により構築する新たな中央会

決議事項1においては、平成31年度を目標年度とし、目標達成のための実践方策を5点、決議事項2においては、目標達成のための実践方策を3点、決議事項3は、基本目標実現に向け、それぞれの

立場で取組むべき内容を整理しております。

大会決議では、各議案について組合員・JA・連合会・中央会

が各役割を再確認、英知を結集し、基本目標の達成に取組むとともに、実践内容のグループ内外への発信

や農業・JAの意義の発信を通じて「消費者・地域社会、そして北海道550万人から信頼されるJAグループ北海道を目指す」ことを決意。特別決議では、PPP大筋

合意に「情報の開示や国民的議論が一切なされぬまま、国会決議との整合性が厳しく問われる内容で

決着したことに對し、われわれ農業者は、大きな不安と政府に対する強い不信・憤りを抱いている」とし、担い手が将来にわたって意

欲と希望をもって営農を継続できるように取り組みを続けていくことを確認。政府・国会議員に合意

内容の全容と影響、国会決議との整合性について説明責任を果たし、生産者の不安を払拭し、持続可能な北海道農業を確立するよう強く

求めていくこと、北海道550万人と農業理解促進活動を展開し、国産農畜産物に対する支持と信頼

を高めていくことを掲げました。

また、北海道農業とJAグループに期待するものと題して、5

人のパネリストによるディスカッション。広報活動プレゼンテーションとして、TVでおなじみとな

った「あぐり王国北海道」のこれまでとこれからの紹介など盛会

のうちに終了いたしました。

J A 女性部

清水高校で食品実習

～スイーツや

ピッツア&ベーコン作りに

挑戦～

平成24年度から、北海道清水高等学校の協力により始まった食品実習は、当JA女性部員が地元の高校生と交流しながら、食品加工について学ぶことを目的に行われています。

本年度は、当JA広報誌の11月号で紹介した『ベーコン&トマトケチャップ作り』を皮切りに12月10日までに5回開催。全ての実習を終えました。

各回の実習の様子を写真で紹介いたします。

・10月30日：『モンテピアンコ&カボチャチーズケーキ』人舞支部2名と旭山支部6名が参加。（写真①）

・11月10日：『シユークリーム&十勝いっぱい枝豆ムース』字清水支部9名が参加。（写真②）

・11月12日：『ベーコン&ピッツア』美蔓フレミズ5名と熊牛本村3名が参加。（写真③）

・12月10日：『ベーコン&ピッツア』御影支部7名が参加。（写真④）

食品実習に参加した部員からは、「勉強になったし、おいしかった!」「来年もまた参加したい!」との声が多数聞こえ、有意義な時間となったようです。



モンテピアンコ（モンブランのイタリア語名）の土台となるジェノワーズ生地の型抜き中♪



完成したピッツアと一緒に♪（ピザは具を楽しむもの、ピッツアは生地を楽しむもの…だそうです）



実習の店長を担当してくれた清水高校3年の大竹さんと一緒にパチリ♪（大竹さんは、十勝いっぱい枝豆ムースの考案者の1人です）



清水高校の先生と生徒さんに優しく教えてもらいました！ピッツアのできあがりみなさん大満足♪

女性農業者の

J A 運営参画に向けて

～J A こしみずを視察～

まず初めに、当JA女性部は、平成5年度から現在まで各集団を単位に支部制での活動を行っています。しかし、今では、13支部の内7支部が休部の状態にあります。



J Aこしみず女性部員との話し合いの様子

また、『第27回J A北海道大会の決議を受け、平成25年度からの3年間で【女性農業者のJ A運営参画について】J Aと女性組織との対話活動を通じて相互理解を深めること』とされているのですが、前述した通り、女性部の現状では話し合いの場を設けることが困難な状況にあります。

そこで、8月27日に、J A常勤役員と女性部役員で『J A女性部の現状について』の懇談会を行いました。懇談会で話し合った結果、「J A運営に女性が参画することを考えることも大切だが、女性部組織が活発になることも大切」と

の話でまとまりました。

その後、他のJ Aの取組みで参考になるものを探したところ、J Aこしみずが、過去に支部制で活動していたが、支部制を廃止し、『女性部全戸当然加入制度』という先進的な取組みを行い、女性部活動の支援をしていることがわかりました。

11月16日、J Aこしみずを訪ね、『女性部全戸当然加入制度』についてのお話を伺いました。

『女性部全戸当然加入制度』とは、女性一人ひとりが女性部に入るのではなく、『正組合員一戸』を単位とするものです。つまり、女性部員の単位は【個人】ではなく【戸】で、一戸に女性が3人いれば、自動的に3人とも女性部員となる仕組みです。

J Aこしみずが、この取組みを行うに至った経緯や現在の状況などを、上野営農部長から丁寧な説明をいただきました。

訪問した当組合長はじめ、当女性部3役は、様々な質問をしてみました。

今回の視察は、短い時間ではありましたが、大変有意義なものとなったようです。

牧場ママの試食会を

食彩館で開催

J A十勝清水町女性部（表由美子部長）は、食彩館すまいる432店（山根浩仁店長）と協力し、11月27日に「牧場ママの試食会」を食彩館にて開催しました。

これは、『牛乳乳製品の需要拡大のため、新しい「飲み方」「食べ方」を地域の消費者に提案すること』や『地元の農畜産物の素晴らしさを知ってもらうこと』を目的に、Aコープチェーン・北海道帯広ブロック協議会と管内J A女性部の共催のもと各地で行われて



「お一ついかがですか？美味しいですよ！」

います。

当J A女性部では、牛乳乳製品と当J Aの主力商品である、『十勝若牛』や『黒にんにく』をコラボさせたメニュー（十勝若牛味付きサガリパテ・黒にんにくクリームチーズカナッペ）を提案しました。

『十勝若牛』味付きサガリパテは、薄力粉と牛乳でクレープのような薄い生地を作り、その上にレタスと味付きサガリをのせて巻くだけの簡単メニュー。生地にホクレン 北海道産薄力粉を使用したのですが、「生地がすごくもちもちしておいしい！」と大好評でした。また、生地には調味料が一切入っていないことを伝えると、「牛乳と薄力粉だけでこんなにおいしい生地ができるんですね！」と驚かれました。

黒にんにくクリームチーズカナッペも、リッツの上にクリームチーズと黒にんにくをのせるだけのお手軽メニュー。「おいしい！」「家でもやってみます」との声が多数ありました。

短い時間ではありましたが、食彩館を利用される方に、当J Aの商品の味を知ってもらう良い機会となったのではないのでしょうか。

JA青年部

みんなで作ろう！
クリーンな農業

JA青年部（森陽輔部長）では、11月5日～6日に農業の空容器と空袋の回収協力を行い、二日間、部員27名が参加致しました。これは、農業の空容器と空袋の適正処理による農業事故防止と、環境に対する農業からの負担を軽減することを目的に、青年部が農協事業への協力として行っているものです。



作業はスムーズに行われていきます

今年から消費税増税により価格が改正され、未洗浄・ラミネート袋など持ち込んだ組合員に216円/kgを負担していただくことになりました。

青年部としては、収集場所での洗浄・未洗浄確認、分別、計量の協力とし、各支部ごとに日程を振り分けて協力しました。

確認作業では、組合員の皆様の協力もあり、スムーズな回収作業となりました。

今後も、農業の使用後は3回以上の洗浄を徹底していただき、分別し回収時に出す手間を省くなど、安全な回収に組合員の皆様のご協力をお願い致します。

青年部農産部会 第3回土づくり研修会開催

11月17日、JA青年部農産部会（野々村拓部会長）は、第3回土づくり研修会を開催しました。

講師に前回に引き続き、十勝農業試験場 生産環境グループ 渡辺研究主幹を迎え部会員12名が参加しました。

渡辺研究主幹より、本年度の「小麦の多収要因」、「輪作はなぜ必要なのか」、「化学肥料はど

こまで減らせるのか」の3つのテーマに沿って説明して頂きました。具体的に詳しい内容に、部会員は真剣な表情で説明を聞いており、その後の質疑応答ではたくさん質問が出ていました。

研修会終了後は「まるよし」にて懇親会を行い、部会員の親睦を深めることができ、非常に有意義な研修会となりました。



講師の話に耳を傾ける青年部員

農産部会・畜産部会 管外視察研修

JA青年部農産部会（野々村拓部会長）と畜産部会（藤本高史部

会長）は、11月19日から20日の2日間、札幌市・恵庭市・千歳市へ管外視察研修を行い、両部会合わせて20名が参加しました。



機械の説明を受ける青年部員【MSK農業機械】



搾乳ロボットを見つめる青年部員【デラバル札幌営業所】

飛び交っていました。宿泊先の札幌では、事務局を含め22名で農産・畜産部会合同懇親会を行い、盛大に親睦を深めました。

二日目、農産・畜産両部会は札幌駅周辺を視察し、全道各地の様々な特産物を見て「こんな商品もあるんだ」など驚きの声が上がっており、他市町村の取組に良い刺激を受けている様子でした。参加者は多少疲労があったものの、無事に2日間の日程を終了しました。

J A 青年部十勝大会

J A 青年部（森陽輔部長）は、11月25日に行われたJ A 青年部十勝大会に部員13名が出席しました。

まず開会式から始まり、J A 青年組織綱領朗唱などを行いました。青年部員は真剣な眼差しで取り組んでいました。

その後はJ A 青年部活動実績発表が行われ、各単組の様々な取組を聞き、今後の活動の参考になったのではないかと思います。

「動画で発信！農の魅力コンテンツ」では24 J A が作成し、残念ながら当青年部の作品は入賞することはできませんでしたが、完成度の高い魅力ある作品だったと思います。

4つの部会に分かれて行われる青年部分科会では、それぞれ講師より各テーマに応じた講義を受け、農業情勢の把握や技術向上に役立てました。

最後に全体懇親会が開かれ、各単組の部員と親睦を深めました。懇親会で行われたアームレスリング大会では、字清水支部の有働哲也さんが代表として参加し、圧倒的な強さで見事優勝。全道大会の

切符を手にししました。参加者は多少疲れた様子でしたが無事に全日程を終了しました。



各単組の取組を聞く青年部員

経済部大感謝祭

ご愛顧に感謝
経済部大感謝祭開催

11月19日～20日の2日間、日頃のご愛顧に感謝して経済部大感謝祭をJ A 本所生産資材倉庫を会場に開催し賑わいを見せました。



これからの季節、長靴は必需品です

会場内には、カー用品、ガス器具、防寒衣類、除雪機等を販売。また、会場の外ではトラクター等の農機具が多数展示され来場者が足を止めて見ていました。Aコープ食彩館すまいる432では食料品を、農産課では黒にんにく、十勝若牛の肉まん、十勝清水はるきりラーメンを販売しました。

寒い中、大感謝祭には大勢の方にご来場いただきありがとうございました。

デイリーフォーラム 95

秋期管内視察研修兼
家族交流会



中村場長より施設の説明を受ける会員

11月11日、デイリーフォーラム95（大槻悟会長）は、清水町の農事組合法人 清流ファームの視察研修と会員内での家族交流会を開催し、計35名の参加がありました。視察内容としては、まず始めに清流ファームの場長である中村さんより牧場の概要についてのお話を頂きました。設立に当たったの経緯や預託システムの流れを話さ

れ、会員の皆さんも興味深く聞いていました。施設の見学ではカーフハッチから哺育舎（ロボット牛舎）、離乳舎、育成舎と段階的に見学を行いました。

清流ファームは清水町内の構成員9名で構成されており、平成26年時点での受入れ実績は1,058頭となっています。預託受入れ期間は生後3日〜210日（7ヶ月）であり、構成員農場にて出生した乳用メス子牛は全頭受入れをしていて、期間終了後は構成員宅へ戻るか、町内育成牧場へ移動をかける等して子牛の死産率

J A 女性部むらさき会

第2回研修会
「お花」と「タオル体操」で
リフレッシュ

J A 十勝清水町女性部むらさき会（水野やよい会長）は11月24日に第2回研修会を開き会員15名が参加しました。

午前中はオアシスを使った『お花』の研修会です。むらさき会の中では、すっかり定番となったこの研修会は会員には大人気です。



今年も出来栄えに大満足です！

の低減、後継牛頭数の安定確保等に努めています。視察後には畜産研修センターにて家族交流会を実施し、気温の低い中でしたが会員の方々と焼肉を楽しみました。

毎年、講師として来ていただいている平野真実さんに、今年も優しく、丁寧な指導を受け、黄色、ピンクなど色とりどりのお花を生けていきます。お花を生けている最中は、終始楽しそうな雰囲気。「この花はどこに生けたらいいですか？」積極的に質問する会員の

姿が見られました。お花を生け終わると出来上がった作品をみて会員同士「みんな同じ花を使っているけど、同じ作品はひとつも無いよね」「素敵にできたね」と会話が聞こえ、出来栄に満足の様子でした。作品と記念撮影をし、午前中の研修会は終了しました。

午後からは、細野ひとみさんを講師に迎え、『タオル体操』を行いました。まずは、ウォーミングアップとして頭の体操を行いました。片手をグー、片手をパーにしてグーを前、パー後ろと交互に前に突き出していくという体操をし、細野さんは「イメージするところが、体の動きにつながっていきます。考える事が大事です」と話され、「次は少しパージョンアップします。右手はパーのまま。左手は先に親指と薬指をまげておいて数を数えます。1、2、3・・・8、9、10できました？」「うわー。難しい」「できない」と会員から声が聞こえました。ウォーミングアップが終了し、タオルを使った体操へ移りました。細野さんは「まずは体を左右にひねってみましょう。次はタオルを手を持って上にあげて左右へ動き



タオルを使って股関節を伸ばしています

ます。そしてもう一度タオルを持たずに左右へ体をひねってみましょう。どうですか？1回目よりもねじれていませんか？これは、体を伸ばすことで可動域が広がったのです」「股関節は座ったままタオルを足にあててゆっくり持ち上げて下さい。股関節が伸びてきていませんか？」「足の冷えには、青竹踏みがベストですが、無理なら足の指を広げて動かす。下にタオルをひいて指をグッパ、グッパする。末端を動かすと頭にもいいですよ」とタオルを使った体操を次々と教えてくださり、会員は「本当だ。さっきよりもひねれ

る」「ああ、伸びてる。気持ちいい」と大満足です。

細野さんは「小まめに続けることが健康維持につながりますので、皆さん是非続けてください」と話され、最後は「ズンドコ節」の曲に合わせてタオルを使い体を動かして、曲の終わりにタオルを振って「ハイ！」とポーズを決め笑顔で終了しました。

参加された会員は、『お花』と『タオル体操』で心も体もリフレッシュすることができた1日となったようです。

地域別懇談会

組合員と懇談

11月24日～28日、12月1日の6日間、JA地域別懇談会が10ヶ所の会場で開催されました。

議題としては、地域農業振興中長期5ヶ年計画の骨子素案について、27年産小麦概算金、酪農・畜産情勢などについて説明を致しました。

JAからの説明後、組合員から

農業者年金説明会

年金の疑問を解消

11月26日、農業者年金制度についてより理解を深め、日頃の疑問を解消していただく事を目的とした「農業者年金説明会」が本所2階中会議室にて開催されました。説明会には、受給権者の方々を中心とした「農業者年金説明会」が本所2階中会議室にて開催されました。説明会には、受給権者の方々を中心とした「農業者年金説明会」が本所2階中会議室にて開催されました。説明会には、受給権者の方々を中心とした「農業者年金説明会」が本所2階中会議室にて開催されました。

心に20名が参加されました。

講師には北海道農業会議の幡野氏をお招きし、経営移譲年金（加算付年金）や特例付加年金の受給方法等を中心に年金制度の概要の説明が行われました。

農業者年金の特性としては、まず年金原資の額に応じて年金額が決まる積立方式（確定拠出型）のため安心な年金制度となっており、政策支援加入では保険料の国庫補助が受けられます。農業に従事する方なら広く加入いただけます。検討されている方は経営指導課（62-2163）までご相談下さい。

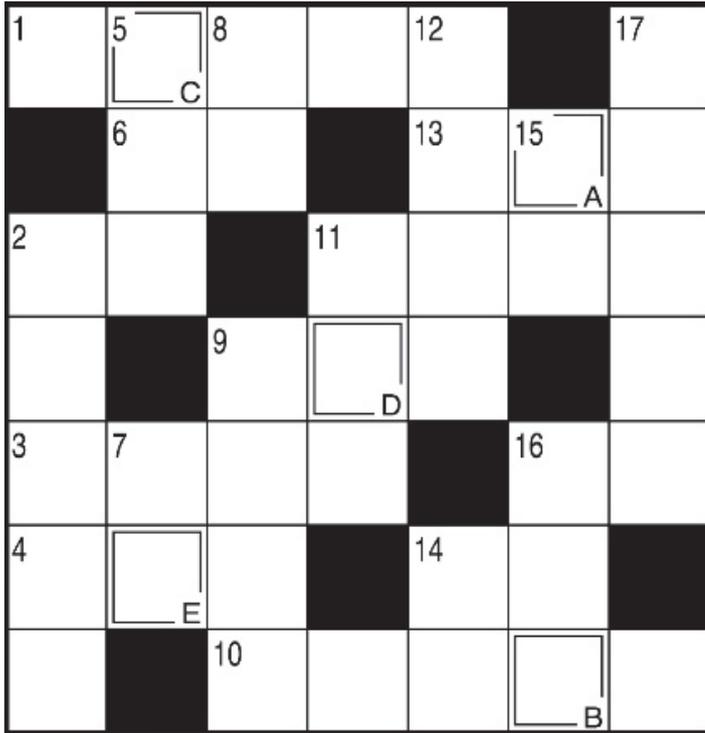


議案に目を通す組合員



大勢の方が参加されました

クロスワードパズル



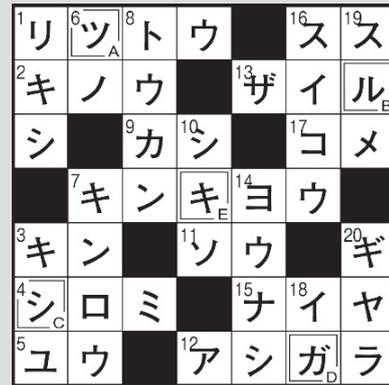
クイズの答えを解答用紙に記入し、ファックスするが直接JAにご持参ください。正解者の中から抽選で5名の方に記念品を差し上げます。

ご応募お待ちしております。(締切1月31日)

11月号 (No.286) の答え

A B C D E

ツルシガキ



→ ヨコのカギ

- ① 新年に寺社へ出掛けて済ませます
- ② ドライバーで締める物
- ③ 解答用紙の——を文字で埋めた
- ④ 年表を見ると概要がつかみやすいかも
- ⑥ 騎手が馬に入れる物
- ⑨ サハラ、ゴビ、タクラマカンといえ
- ⑩ 受話器を離さずに延々と続けます
- ⑪ 自動車の燃料タンクが空っぽの状態
- ⑬ ——心頭に発する
- ⑭ 父や母の、父
- ⑯ 古い石碑に生えることもあります

↓ タテのカギ

- ② 首に掛けるアクセサリ
- ⑤ 髪はここを中心に渦巻きます
- ⑦ 釣り人がじっと眺める物
- ⑧ 安倍川にしますか、砂糖じょうゆで食べますか
- ⑨ 色が白っぽい——そばは、ソバの実の中心部分をひいた粉で作ります
- ⑪ 屋外で写生するときの机代わり
- ⑫ CDとも呼ばれるコンパクト——
- ⑭ 腕まくりするとき折る物
- ⑮ イチかバチかの大きな——に出た
- ⑯ 土を盛って造った古代の権力者の墓
- ⑰ ある限り全部の物

11月号 (No.286) あたまの体操当選者発表

当選者は 松 沢 角田 欣美さん 南 高 台 野原 千晴さん
 下美蔓 1 牧野絵美子さん 新 羽 帯 水野 清治さん
 平 和 那須野智弘さん

おめでとうございます。



会場の様子



「かんぱ〜い」出席者全員で祝います



特別清水町長賞を受賞した松原秀雄さん（中央）準名誉賞を受賞した大久保大輔さん（右）優等賞を受賞した成松直樹さん（左）

10月23日〜26日に行なわれた「第14回全日本ホルスタイン共進会」の受賞報告会が11月20日に当JAの2階大会議室で行われました。

名誉賞を受賞した(有)田中牧場さんには特別清水町長賞、準名誉賞を受賞した大久保大輔さん、優等賞を受賞した成松直樹さんには清水町長賞が授与されました。

3名を代表して(有)田中牧場 取締役専務 松原秀雄さんより「清水町の牛が受賞したことで清水町を全国にアピールできたと思います。今回の反省を踏まえて、仲間と共に牛の改良に励み、5年後の九州で行われる全国共進会に向けてがんばっていききたいです」と力強い挨拶がありました。

その後は牛乳で乾杯が行われ、出席者は料理を食べながら談笑しました。

「第14回全日本ホルスタイン共進会」 受賞報告会

ちょっと
拝見しまあ

今月の青年部員さん



本村 松久 昂稀さん (23)

最近の出来事

『アイスホッケーの試合で
強豪に勝ったこと』

◆経営面積・内容

作付面積28ha。
小麦11.5ha、ビート7ha、
白菜3.5ha、キャベツ0.3ha、
ブロッコリー1.5ha、
セロリ(ハウス)0.2ha。

◆趣味・特技

アイスホッケー。

◆農業に対する今後の目標

今後親を楽にさせたい。

◆青年部活動において

加入したばかりなのでよくわからない。

◆農業をやっている良かったこと辛いこと

良かったこと：自由がある。
辛いこと：雨の野菜の収穫。

※次回の「今月の青年部員さん」は
字清水支部 相根 尚弘 君です。

今月のメニュー パーティーカップずし

主な材料

- ・米 3合
- 合わせ酢
- ┌ ・酢 70cc
- ├ ・砂糖 大さじ3
- └ ・塩 小さじ1/2
- ・かんぴょう 20g ・干し椎茸 2枚
- ・砂糖 大さじ1 ・しょう油 大さじ2
- ・みりん 大さじ3 ・煮汁 適量
- ・シーチキン(水煮)80g(小1缶)
- ・コーン缶 130g ・桜でんぶ 適量
- ・さやえんどう 適量 ・にんじん 1/2本
- ・卵 2個 ・砂糖 小さじ1
- ・塩 少々

作り方

- ① 炊き上がったごはんに合わせて酢を加えずし飯を作ります。
- ② 干しいたけは水に戻し、かんぴょうと共に調味料を加えて煮ます。冷めたら水気をよくきり、細かく切ります。



協力：JA女性部料理サークル

- ③ ①のずし飯に②を加え、五目ずしを作り、カップに盛り付けます。
- ④ 卵に砂糖・塩を加え、薄焼きにし、細切りにして錦糸玉子を作ります。
- ⑤ にんじんは、薄切りして型抜きしたものをゆでておきます。さやえんどうもゆでておきます。
- ⑥ ③にシーチキン、コーン、錦糸玉子、桜でんぶ、にんじん、さやえんどうを飾ります。